

にいがた

シルバー連合

2026
NIIGATA

70号

1月発行

第65回
—御遷座百十年—
「彌彦神社」
令和7年

CONTENTS

- | | | | |
|--|-----|----------------------|---|
| 新年のごあいさつ..... | 2,3 | SC事業普及啓発..... | 6 |
| 研修会開催..... | 4 | 高齢者活躍人材確保育成事業..... | 7 |
| 安全・適正就業パトロール
中期計画(令和7年度~11年度)の策定 .. | 5 | 活動拠点の紹介(弥彦村SC) | 8 |

弥彦菊まつり大風景花壇

三万本の挿し芽小菊で、毎年テーマを変え作られます。
令和7年(第65回)のテーマは、【—御遷座百十年—「彌彦神社」】でした。

写真提供:(公社)弥彦村シルバー人材センター

新年のごあいさつ



(公社)新潟県シルバー人材センター連合会

会長 眞島 幸平

新年あけましておめでとうございます。

県内シルバー人材センター会員並びに職員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

また、行政をはじめとした関係機関の皆様には、シルバー事業にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。ご承知のとおり我が国においては、急速な少子高齢化が進展する中、労働力人口の大幅な減少により、働く意欲のある高齢者が活躍し続けることができる「生涯現役社会」の構築が急務となっています。

このような中、働く意欲のある高齢者に対して、地域の日常生活に密着した仕事を提供するとともに高齢者の生きがいづくりにも大きく貢献しているシルバー人材センターの役割は増々大きくなってきています。

そのためには、全シ協が掲げる「新たな仲間づくり計画」に基づく会員の増強、厚生労働省が提案している契約方法の見直しや改正公益法人法への適正な対応が求められています。

シルバー事業は、「自主・自立、共働・共助」の理念を堅持しつつ、社会の要請に応えるとともに、コンプライアンスの一層の遵守も求められており、適正に対応していくことが必要です。

これからも安全・適正就業を推進し、会員の増強や就業機会の確保に努め、高齢者が生きがいを持って働き、地域に貢献できるよう努力して参ります。

そのためには、県内21のシルバー人材センターと当連合会が、共に力を合わせ取り組むとともに、シルバー事業の魅力や有用性等について、広く周知・広報をしていくことも重要であると認識しています。

関係機関の皆様、今後ともご支援・ご指導をどうぞよろしく申し上げます。

最後になりますが、皆様のご健勝とご多幸とシルバー事業の増々の発展を祈念申し上げます、新年のあいさつといたします。



謹賀新年

(公社)新潟県シルバー人材センター連合会役員一同

会 長	眞 島 幸 平	(公社)新潟市シルバー人材センター理事長
副 会 長	大 塚 克 弘	(公社)長岡市シルバー人材センター理事長
副 会 長	重 野 耕 作	(公社)上越市シルバー人材センター理事長
常 務 理 事	秋 山 憲 一	(公社)新潟県シルバー人材センター連合会事務局長
理 事	野 崎 義 雄	(公社)三条市シルバー人材センター理事長
理 事	本 間 敏 博	(公社)柏崎市シルバー人材センター理事長
理 事	樋 口 則 雄	(公社)十日町地域シルバー人材センター理事長
理 事	木 村 健 彌	(公社)五泉市シルバー人材センター理事長
監 事	小 柳 龍 史	(公社)新発田地域シルバー人材センター理事長
監 事	樋 口 正 治	(公社)加茂市シルバー人材センター理事長





新潟労働局長 福岡洋志

新年あけましておめでとうございます。

新潟県シルバー人材センターの会員並びに関係者の皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本県のシルバー人材センター事業は、県内21のセンターにおいて、約2万人の会員を有し、着実な事業運営により活力ある地域社会づくりに大きく貢献されていることに、改めて敬意を表するとともに感謝申し上げます。

さて、現下の新潟県内における雇用情勢については、少子高齢化で労働者が減少する中、人手不足が深刻化しており、高齢者の就業を増やすことで「誰もが年齢に関わりなく働ける社会」を実現するための対策を強化する必要があります。

このため、新潟労働局では、若者や女性、高齢者の誰もが新潟で自分らしく働き、暮らし、輝ける社会の実現を目指し、総合労働施策推進プロジェクトとして『NIIGATA Niji Work プロジェクト2025』を推進しているところであり、同プロジェクトにより、高齢者の就労・社会参加の促進を図ることとしています。

「人生100年時代」を迎える中、元気で就労の意欲にあふれ、豊かな経験と知識を持った高齢者が、それぞれの地域で雇用・就業の場を得て、社会活動等に関与していく環境を整えることは極めて重要であり、多様な就業機会と高齢者とのマッチング支援を行うシルバー人材センター事業は、単に高齢者の就業促進というだけでなく、高齢者の生きがいや健康維持、社会参加を支援するとともに、地域の活性化や福祉の向上に貢献しており、その役割には、今後、益々期待が高まるものと考えています。

新潟労働局といたしましては、令和8年も引き続き、シルバー人材センター事業が地域に根ざしてさらに発展していくように、引き続き連携してまいります。

最後に「自主・自立、共働・共助」の基本理念のもと、今後のシルバー人材センター事業の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝とご活躍を祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。



新潟県産業労働部雇用能力課長 佐藤 勇

あけましておめでとうございます。

シルバー人材センターの会員並びに関係者の皆様におかれましては、新しい年を迎え、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

また、日ごろより、本県のシルバー人材センターが高齢者の就業機会の提供にご尽力され、活力ある地域社会づくりに貢献しておられますことに、心から感謝申し上げます。

さて、本県経済は少子高齢化や若者を中心とした県外への人口流出なども背景に、人手不足が社会問題として深刻化し、人材の確保・育成が喫緊の課題となっております。

このような中、健康寿命の延伸に伴い、65歳以上の就業者数は過去最高を更新しており、高齢者の方々がそれぞれの意欲や希望に応じて、その能力を活かす場の拡大が求められています。

県民一人ひとりが豊かでいきいきと暮らせる社会をつくるためには、誰もが年齢に関わりなく、その持っている意欲と能力を十分に発揮し、働きがい・生きがいをもって活躍できる環境を整備することが重要です。

シルバー人材センターにおかれましては、「自主・自立、共働・共助」の理念のもと、地域の日常生活に密着した就業機会の提供により、高齢者の就業を促進するだけでなく、個人の生きがいづくりや健康の増進、さらには地域社会の活性化にも寄与されていることから、その役割への期待は、今後より一層高まるものと考えております。

県といたしましても、引き続き、シルバー人材センターの取組を支援するとともに、高齢者のライフスタイルに応じた多様な就業機会の創出促進に向け、「女性・高齢者等新規就業促進プロジェクト（にいがたアクティ部）」に取り組んでまいります。

結びに、シルバー人材センターの益々のご発展と、会員、関係者の皆様のご健勝を祈念申し上げますとともに、県政への一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。

研修会開催

◆ 新任職員研修会

9/10 (14名出席)

9月10日(水)に新任職員研修会を開催しました。

第1部は「情報漏洩の脅威」について視聴、第2部は「シルバー人材センター事業について」の講義、第3部は2グループに分かれ、日常業務の課題や聞きたいことについて、職員同士活発に意見交換をしていただきました。

今回の研修内容をセンターに持ち帰って、これからの業務に活かしていただきたいです。



講義



グループ討議

◆ 公益法人法改正に係る研修会

9/25 (17名出席、31名オンライン出席)

公益法人法が今年から改正されたので、高橋公認会計士事務所の高橋信太先生を講師にお迎えし、その概要や会計の留意点等に関する研修会を開催しました。

収支相償原則の見直し、新しい会計基準、外部理事・監事等について講義いただきました。

これからの業務に活かしてください。



講義



高橋信太氏

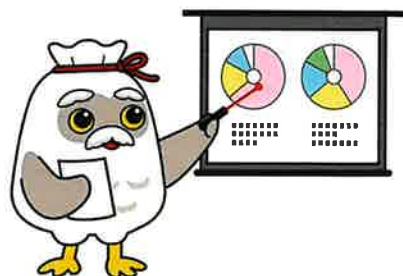
◆ 役員研修会

10/23 (124名オンライン出席)

今年も「オンライン」での開催としました。

昨年ご好評をいただきました「シルバー事業に役立つ“老年学”のすすめ」の第2弾として、公益財団法人ダイヤ高齢社会研究財団の石橋智昭研究部長様を講師にお迎えし、ご講演いただきました。

高齢者の特徴の理解や、介護予防やフレイル予防に役立つ内容でした。



オンライン研修



石橋智昭氏

安全・適正就業パトロール

連合会では毎年、安全・適正就業パトロールを実施しており、今年度は5センターで事故の多い作業である除草・剪定・冬囲いなどを中心に実施しました。

チェックリストを用いて、作業内容に相応しい服装か、作業環境は安全かという項目を重点的に確認した後、受検・指導センターで意見交換を行い、機械除草においては、飛び石事故対策として防護ネット使用・刈刃の使い分けの重要性、剪定・冬囲い作業では安全帽や脚立の正しい使用方法や蜂さされ対策などについて、活発な意見がだされました。

また、熱中症予防として対策グッズの配布や幹旋、熱中症警戒アラート発令時に、作業の中止や延期を呼びかける対策をしているセンターもありました。

近隣センターがお互いにパトロールを行うことにより、改めて気付く点もあり、安全対策を見直す良い機会になったという意見を頂きました。

これからも安全・適正就業の取り組みをお願いします。



長岡市 SC



三条市 SC



村上地域 SC



佐渡 SC



小千谷市 SC

中期計画(令和7年度~11年度)の策定

連合本部は、拠点センターとの連携を図るとともに、その運営の実情を的確に把握し、併せて適切な情報提供、助言、育成指導等を行い、拠点センターの発展を支援します。



具体的な支援としては、会員の増強、就業機会の拡大、安全・適正就業の推進、研修事業等に取り組むこととしています。

今後、各拠点センターと連携しながら、計画の実現に向けて取り組んでいきますので、よろしくお願いします。



シルバー人材センター事業普及啓発

10月はシルバー人材センター普及啓発月間です。シルバー事業について広く県民の方々に周知するため、シルバーフェスタの開催、テレビ・ラジオのCM放送、新聞への広報、ポスター・パンフレットの掲示・配布等を行っています。今年度は新たに地元銀行でのCM放送、検索キーワードに連動したデジタル広告を開始しました。

「シルバーフェスタ」の開催 10月15日(水) イオンモール新潟亀田インター

普及啓発促進月間の取組みのひとつとしてシルバーフェスタを開催しました。買物客に「シルバー人材センターです。よろしく願いいたします。」と声をかけてPRを行い、血管年齢測定等に参加いただきました。

参加者アンケートでは、「血管年齢を調べていただいてよかった」「入会は数年後・・・と少し考えています」「自治会の除草でお世話になっています」「シルバーのこと全然知らなかった」等の感想、意見をいただきました。



血管年齢測定



受付の様子



入会・就業相談

☆☆☆ 新潟市センターの会員が仕事体験指導を行いました！ ☆☆☆



仕事体験 (網戸張り)



仕事体験 (小物ブローチ作り)



仕事体験 (パソコン就業)

銀行でCMを放送

第四北越銀行内県内150店舗で15秒CMが1日60回、10月に約1200回放映されました。

1日あたり一般の方、企業の方等、1万人以上が来店されるそうです。



店内の様子



放映コマーシャル

デジタル広告掲載

Google、Yahoo!での検索キーワードに連動して広告を表示します。シルバーの魅力・特徴を確認後、興味・関心を持った高齢者が連合会・センターのHPへ訪れる流れです。



ランディングページ

高齢者活躍人材確保育成事業

高齢者活躍人材確保育成事業では、新潟労働局の委託を受けて地域における人手不足分野や現役世代を支える分野での高齢者の就業を推進するため、技能講習、就業体験、仕事説明会、セミナー等を開催しています。開催にあたって県内シルバー人材センターに対して「地域ニーズ調査」を行い、地域の人手不足分野の仕事を中心に設定しています。

今年度新たに「施設宿直業務員講習」を開催しましたのでご紹介します。

施設宿直業務員講習(上越市会場)

地域のニーズ調査から

- ・ 公共施設の受付業務、介護施設の宿直・日直スタッフ等の依頼がある。
- ・ 当該業務を希望する会員がいない。
- ・ 現在、3名体制等でローテーションやシフトで就業している会員に欠員があった場合の、交代者が見つからず仕事を断らざるを得ない状況がある。



実施内容

- ・ 施設受付や宿日直スタッフとして仕事をするための基礎知識として、「業務の基本的な姿勢とマナー」「施設が求める人材と役割について」「コミュニケーションとハラスメントを学ぶ」について、キャリアコンサルタント及び介護施設長から講義いただいた。
- ・ シルバー人材センターから、現在有効中の求人情報の説明及び「一日の仕事の流れ(介護施設の日直の場合)参考例」の説明があった。
- ・ 実際に施設受付の仕事をしている会員から「仕事をするうえで気を付けていること」等の体験談があった。

【ポイント】

- ・ 未経験の方でも具体的に就業する現場や仕事内容が想像できるよう、就業開始から終了までのタイムスケジュールを示して何時どんなことをするか、説明していただいた。
- ・ 就業への不安解消のため、実際に就業している会員から、就業している時の服装で来てもらい、接客で気を付けていること、仕事の前日は休肝日にしている等の体験談を話してもらった。
- ・ 就業意欲が奮起した機会を逃さないよう、講習中に施設管理関係の有効中の求人情報一覧を提示して就業条件等の詳細を説明しマッチングを図った。

参加者アンケート(抜粋)

- ・ 宿直業務や職場マナーについて大変多く学ぶことができました。体験談も具体的に理解でき大変参考になりました。
- ・ コミュニケーションの重要性、正確な報告の実施に注意して業務を行いたい。
- ・ ハラスメントなど色々な事を知り参考になりました。このことを忘れずに次の仕事に役立たせられるように努力し自分を磨いて信頼・信用される人物になりたい。
- ・ セクハラ、パワハラ等、現在の注意することが参考になり、今後、仕事をするうえでよかった。

実施結果

定員	申込者		修了者		新規入会者		シルバー就業者	
	申込率	未入会者	入会率	就業率				
15人	17人	113%	12人	6人	6人	100%	8人	68%

活動拠点の紹介

(公社)弥彦村シルバー人材センター

当センターは、平成3年4月に「弥彦村シルバー人材グループ会」として発足しました。会員50人、予算規模330万円程度で、主に民間企業や家庭から作業を請け負っていました。

平成11年4月に「弥彦村シルバー人材センター」と改称し、公共部門の受託件数、契約金額が増加していきました。平成12年8月に社団法人の認可を受け、平成20年4月から国庫補助対象団体となりました。近年の受注状況は、公共事業55%、民間事業45%の割合となっていますが、最低賃金が上昇している割に契約金額は伸びていません。

平成6年度末の会員数は160人(平均年齢74.5歳)、契約金額は72,670千円となっており、契約金額は横ばいの状況ですが、会員数はピーク時に比べると20人以上減少しています。特に近年では、再雇用や定年延長の影響により新入会員が大幅に減少しており、就業会員の確保が厳しくなっています。

会員の拡大のため、女性部会立ち上げの検討や各種講習会、セミナーを実施し、広報紙の全戸配布を年2回行っていますが、他のセンターの取り組み状況を参考にして新入会員を増やすよう努めていきたいと思えます。

職員2名の県内で一番小さいセンターですが、役員・会員一体となって地域に貢献していきたいと考えています。



剪定講習会



ボランティア活動



フレイルセミナー

〒959-0318 西蒲原郡弥彦村大字麓3134番地3 サン・ビレッジ弥彦 TEL 0256-94-5144

【新潟労働局からの お知らせ】

労働保険は、労災保険・雇用保険の各種給付金のほか、雇用の安定のために事業主に支給される助成金等の各種支援制度も設けられている制度です。

労働者を一人でも雇っている事業主は、労働保険の加入手続きが必要となります。



編集後記

皆様のご協力により、「シルバー連合にいがた70号」を発行することができました。ご寄稿いただきました皆様に感謝申し上げます。

年明け前から、ニュースになっているクマ。最も多く出る地域は、東北地方・甲信越地方です。クマは、山間部だけでなく住宅街や農地でも出没しており、身近な場所でも注意が必要です。クマの出没が増加している背景には、食料不足や環境の変化が影響していると考えられています。

さて、今年の干支は「丙午(ひのえ・うま)」ですが、60年に一度巡ってくるものです。「丙」は十干では、陽の「火」を表し、太陽のような明るさや情熱、強い意志を象徴します。「午」は十二支では馬を表し、行動力やスピード、エネルギーを意味します。勢いがあり、勇敢で独立心が強いのが特徴です。この2つの組み合わせである丙午には、「情熱と行動力で突き進む」「燃え盛るようなエネルギーで道を切り開く」といった縁起のよさが表されます。

2026年の今年が、シルバーにとっても皆様にとってもよい年になりますように願っています。

(片野)



(公社)新潟県シルバー人材センター連合会

〒950-0994

新潟市中央区上所2-2-2 新潟ユニゾンプラザ2F

TEL.025-281-5553 FAX.025-281-5554

E-mail n-rengo@pluto.plala.or.jp

https://webc.sjc.ne.jp/niigata/